



2019年度第3四半期 決算概況

2020年2月6日

株式会社J-オイルミルズ

問い合わせ先：

CSR・IR部 Tel.03-5148-7101



Agenda

- 1 2019年度 3 Q 決算概況
- 2 中期経営計画進捗
- 3 2019年度通期 見通し
- 4 トピックス
- 5 参考資料

2019年度3Q 連結業績概要

単位：億円

	2017年度 3Q	2018年度 3Q	2019年度 3Q	対前年 増減率	2019年度 期首通期予想	進捗率
売上高	1,407.8	1,441.3	1,374.1	▲4.7%	1,900.0	72.3%
営業利益	30.4	54.8	67.9	+23.9%	65.0	104.4%
経常利益	34.0	58.2	70.5	+21.1%	69.0	102.1%
当期純利益(※)	26.3	45.4	58.5	+28.9%	54.0	108.3%

※親会社株主に帰属する当期純利益

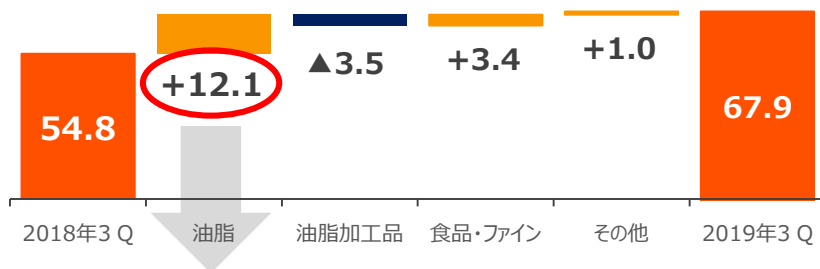
● 決算のポイント

売上高	+	高付加価値品の拡大
	-	ミール価格の低下、油脂販売単価の低下・販売数量の減少
営業利益	+	原料相場の下落を受けた原料調達コストの良化と、油脂価格是正への注力による油脂採算性向上
	+	製品構成改善による高付加価値品の拡大
	-	油脂加工品事業の採算性の悪化
当期純利益	+	18年度台風被害を対象とした受取保険金の計上、+6.4億円（特別利益）
	+	坂出事業所の事業譲渡に伴い固定資産売却益の計上、+12.4億円（特別利益）
	-	2018年第1四半期に将来減算一時差異に関わる繰延税金資産の取り崩したことによる影響、▲2.3億円
	-	「から揚げの日の油」の自主回収に伴う製品回収関連損失の計上、▲1.4億円（特別損失）
	-	配合飼料事業の再構築に伴い、当該資産の減損損失の計上▲1.2億円

2019年度3Q 営業利益増減分析 (対前年)

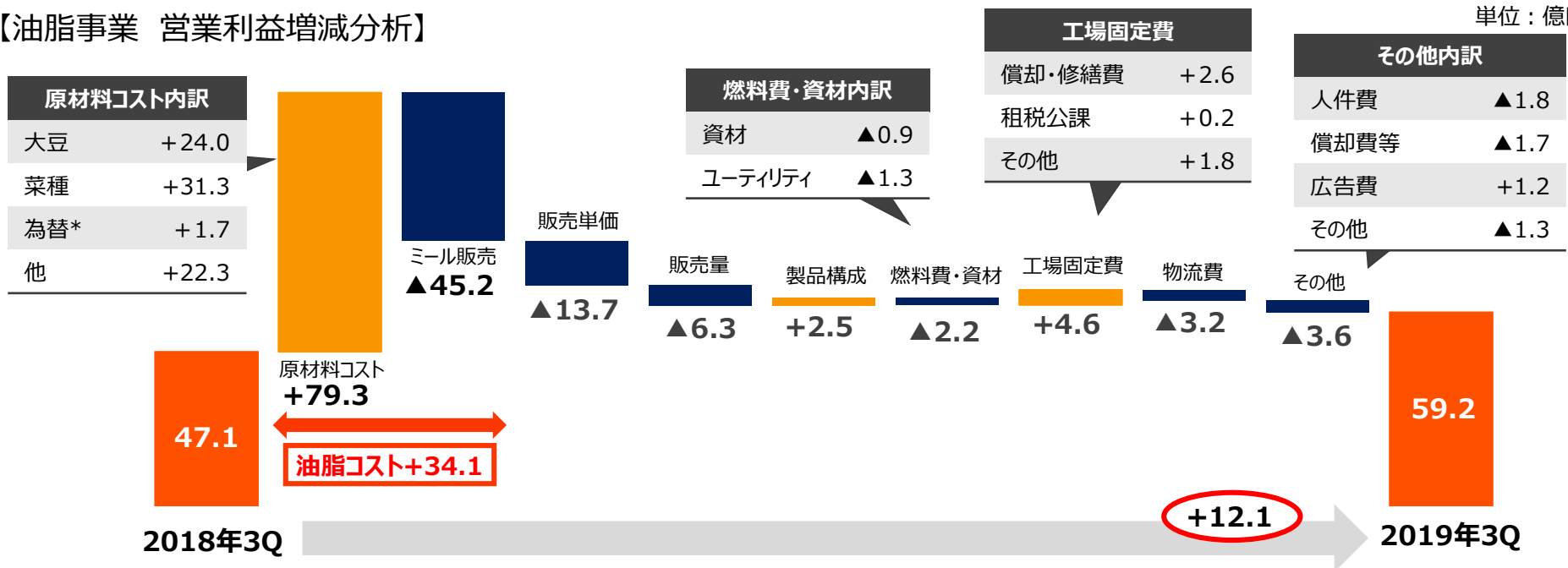
【セグメント別営業利益 増減】

単位：億円



【油脂事業 営業利益増減分析】

単位：億円



*為替・・・18年度3Q:109.3円/1ドル、19年度3Q・・・108.9円/1ドル

2019年度3Q セグメント業績概要

単位：億円

売上高	2017年3Q	2018年3Q	2019年3Q	対前年 増減率	2019年度 期首通期予想	進捗率
油脂	1,191.9	1,223.1	1,162.3	▲5.0%	1,600.0	72.6%
油脂加工品	103.1	100.8	97.9	▲2.9%	134.0	73.1%
食品・ファイン	100.1	106.6	103.5	▲2.9%	153.0	67.7%
その他	12.7	10.8	10.4	▲3.8%	13.0	79.9%
連結	1,407.8	1,441.3	1,374.1	▲4.7%	1,900.0	72.3%

営業利益	2017年3Q	2018年3Q	2019年3Q	対前年 増減率	2019年度 修正通期予想	進捗率
油脂	18.3	47.1	59.2	+25.7%	59.0	100.4%
油脂加工品	4.6	2.5	▲ 1.0	-	▲ 3.0	-
食品・ファイン	5.9	4.3	7.7	+78.3%	7.0	109.8%
その他	1.7	0.9	1.9	+115.7%	2.0	96.8%
連結	30.4	54.8	67.9	+23.9%	65.0	104.4%

セグメント別業績：油脂事業



主要な事業内容

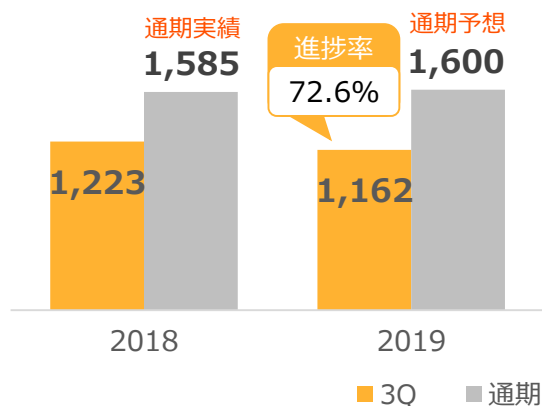
- 家庭用油脂・業務用油脂・ミール

<2019年3Q 売上高構成比>



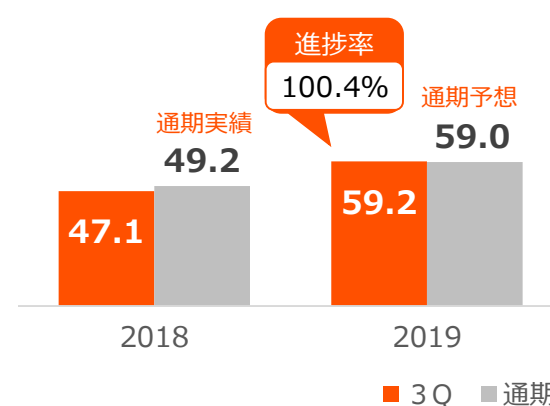
<売上高推移>

単位：億円



<営業利益推移>

単位：億円



- 原料相場の下落を受けた原料調達コストの良化と油脂価格是正への注力による油脂の採算性向上
- 高付加価値品の拡大
- ミール価格の低下によるミール販売悪化

単位：億円

	営業利益	前年比		
		価格	物量	原材料他
家庭用油脂		▲ 5.4	▲ 0.3	
業務用油脂		▲ 8.3	▲ 3.5	
ミール類		▲ 46.7	+ 1.5	
合計	+ 12.1	▲ 60.4	▲ 2.3	+ 74.9

※物量の中に、製品構成が含まれています

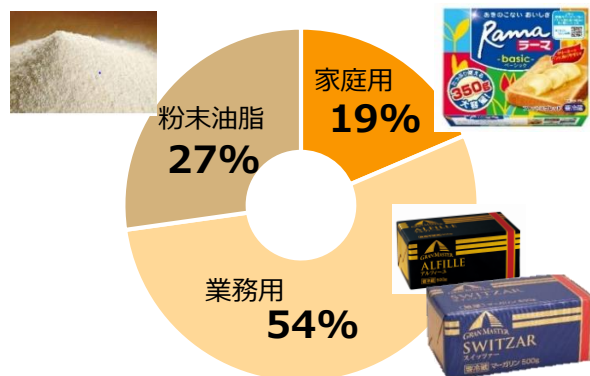
セグメント別業績：油脂加工品事業



主要な事業内容

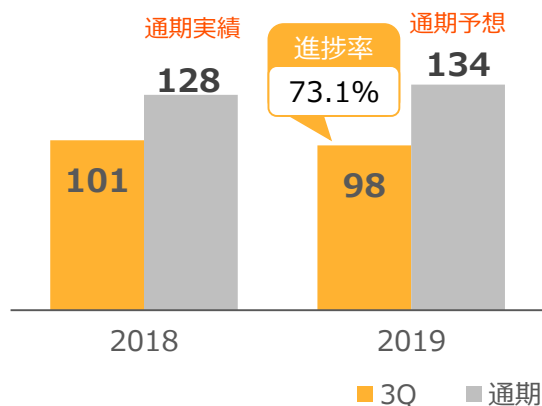
- マーガリン・粉末油脂

<2019年 3Q 売上高構成比>



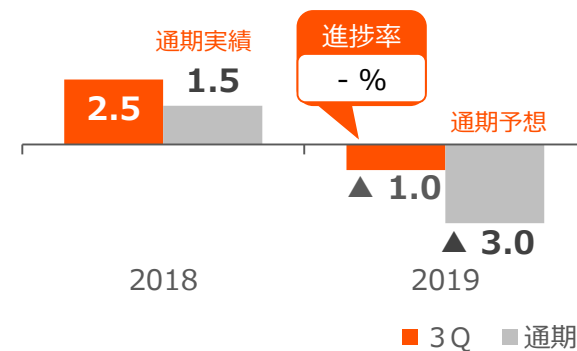
<売上高推移>

単位：億円



<営業利益推移>

単位：億円



- 家庭用マーガリン:販売数量・価格の維持に努める
- 業務用マーガリン:販売量の減少、販売価格の低下、原料調達コスト悪化、委託加工費の上昇、海外での業務提携に伴う費用計上
- 粉末油脂:販売量増加

単位：億円

	営業利益	前年比		
		価格	物量	原材料他
家庭用マーガリン		+ 0.1	▲ 0.0	
業務用マーガリン		▲ 1.2	▲ 1.2	
粉末油脂		▲ 0.4	+ 0.6	
合計	▲ 3.5	▲ 1.5	▲ 0.6	▲ 1.4

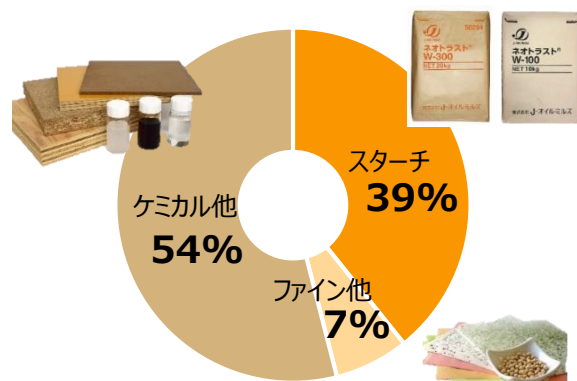
セグメント別業績：食品・ファイン事業



主要な事業内容

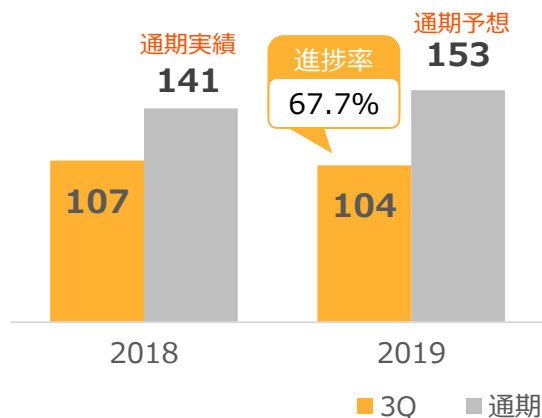
- スターチ・ファイン・ケミカル

＜2019年3Q 売上高構成比＞



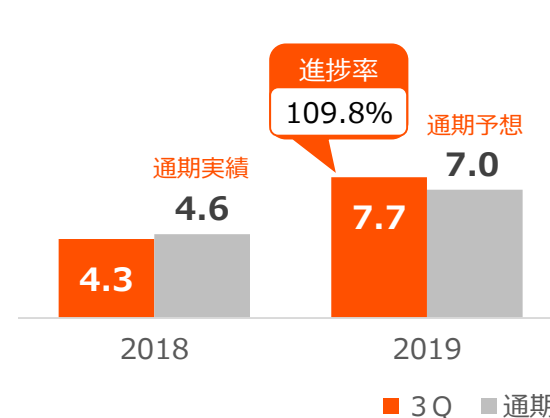
＜売上高推移＞

単位：億円



＜営業利益推移＞

単位：億円



- スターチ:価格改定効果により販売価格の上昇、品質・食感改良材として中食への採用増加
- ファイン :過年度ファイン製品の評価減実施により、当期コスト負担減少
SOYシートは北米を中心とする海外で高評価、需要拡大による好調
- ケミカル:一部原料コストが良化したが、物流費等インフラコスト上昇は続き、価格改定の遅れ

単位：億円

	営業利益	前年比		
		価格	物量	原材料他
スターチ		+ 0.8	+ 0.1	
ファイン		+ 0.2	+ 0.3	
ケミカル他		▲ 2.2	+ 0.0	
合計	+ 3.4	▲ 1.1	+ 0.3	+ 4.2

2019年度 3Q貸借対照表

単位：億円

	19/3期	19/12期	増減
流動資産	709	739	30
現預金	24	35	11
売上債権	370	401	31
棚卸資産	288	280	-8
その他	27	23	-4
固定資産/繰延資産	768	758	-10
有形・無形資産	607	590	-17
投資その他	161	168	7
資産計	1,477	1,497	20

PF社・PVO社株式取得による減少
坂出事業所の事業譲渡に伴う増加

売上増加に伴う売掛金増加、前期末債権流動化実施の影響

設備投資より償却費が上回り減少
配合飼料事業再構築に伴う減損処理、
坂出事業所の事業譲渡に伴う固定資産売却等により減少

PVO社株式取得により増加（持分法）

	19/3期	19/12期	増減
負債	608	584	-24
仕入債務	127	113	-14
有利子負債	215	219	4
引当金	46	43	-3
その他	220	209	-11
純資産	869	914	44
株主資本	823	865	43
包括利益他	46	45	-1
非支配株主持分	1	4	3
負債・純資産計	1,477	1,497	20

原材料、資材購入に係る仕入債務の減少

設備未払金、その他未払金の支払により減少

PF社子会社化により増加（連結子会社）



Agenda

- 1 2019年度 3Q 決算概況
- 2 中期経営計画進捗
- 3 2019年度通期 見通し
- 4 トピックス
- 5 参考資料

第五期中期経営計画基本方針

事業戦略

成長戦略

1. 油脂・育成領域での高付加価値品拡大
2. BtoB市場でのソリューション事業強化
～強みの掛け算～
3. アジアでの海外展開加速
～国内で磨いた価値を基に～
4. 汎用油脂製品の収益力強化



構造改革

1. バリューチェーンの効率化・高度化の
取り組み推進
2. 中長期視点での生産拠点最適化
3. 選択と集中、および効率化

経営基盤強化

企業ビジョン体系策定・浸透、組織風土改革

成長戦略①：高付加価値品拡大

- 予算進捗は遅れているが、オリーブオイル、「長調得徳」、「風味油」の提案強化や原料価格低下により、前年より拡大。
- 粗利益率の改善（連結全体構成比は相場環境の良化を受けて低下）

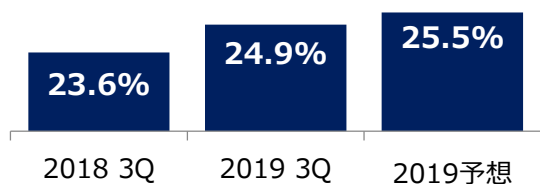
【19年度3Q進捗状況】

単位：億円

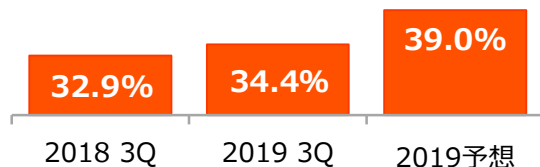
		2018年度 3Q	2019年度 3Q	対前年 増減率	2019年度 通期予想	進捗率
高付加 価値品	売上高	340.8	342.6	+0.6%	485.0	70.6%
	粗利益	88.7	99.5	+12.1%	139.1	71.5%
	粗利益率	26.0%	29.0%		28.7%	

【連結全体構成比】

➤ 売上高



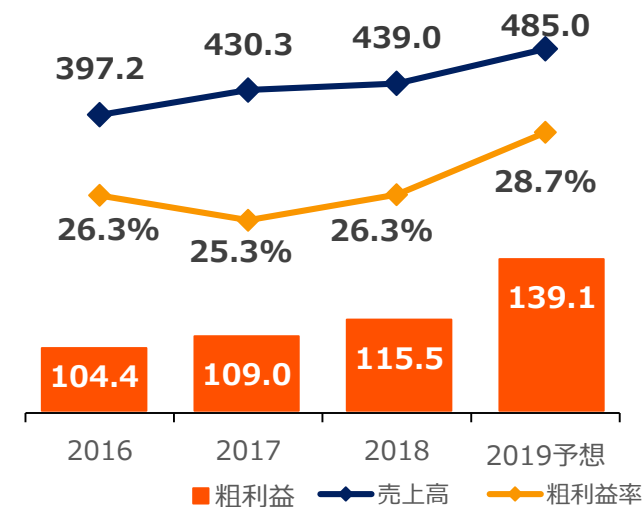
➤ 粗利益



【2019年3Q売上高構成比】




【高付加価値品推移と2019年予想】



成長戦略②：アジアでの海外展開加速～国内で磨いた価値を基に～

➤ マレーシア油脂加工会社の株式取得完了（2019年12月2日）

形態	ソリューション	エリア	活動内容
 M&A	製菓・製パン 素材 (マーガリン・ショートニング等)	マレーシア (ASEAN)	PF社・PVO社との業務提携 ASEANの製菓・製パン素材市場へ参入

- 2019年10月9日、Goodhope社傘下のPNPL社との業務・資本提携契約を締結
- 業務・資本提携契約下で、PF社、PVO社が第三者割当増資を実施
- 取得価格は、PF社 \$ 3.2M(約3.5億円)、PVO社 \$ 8.8M(約9.6億円)
本株式取得により、PF社はJ-オイルミルズの連結子会社、PVO社は、持分法適用会社となる
- 2019年12月31日をみなし取得日として連結の範囲に追加し、暫定で56百万ののれんが発生(PF社)

➤ キックオフミーティングの開催

駐在員を派遣し、グループ一体化の意識調整を図る。

第五期中計以降に向けて、両社の強みを生かし

ASEANの製菓・製パン素材市場を視野に入れさらなる拡大を目指す。





Agenda

- 1 2019年度 3Q 決算概況
- 2 中期経営計画進捗
- 3 2019年度通期 見通し
- 4 トピックス
- 5 参考資料

通期予想

- 2019年度期初通期予想は据え置き

【連結業績】

単位：億円

	実績			通期予想	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	対前年 増減率
売上高	1,802.3	1,833.6	1,867.8	1,900.0	+1.7%
営業利益	54.7	40.1	56.6	65.0	+14.8%
経常利益	58.3	51.4	63.3	69.0	+9.1%
当期純利益(※)	32.6	41.3	47.5	54.0	+13.7%

※親会社株主に帰属する当期純利益

当第3四半期までの連結業績は好調に推移しており、引き続き油脂製品価格の適正水準の実現に注力するとともに高付加価値品の拡販に取り組む。2020年3月期の連結業績予想につきましては、現在精査中であるため、2019年5月13日公表の業績予想からの変更はありません。

主な経営指標

- ROEおよびEPSは前倒しで2020年度目標値を達成、2019年度は10円の増配を計画

(億円)

	2015年度 実績	2016年度 実績	2017年度 実績	2018年度 実績	2019年度 予想	2020年度 目標	年平均 成長率
売上高	1,873	1,802	1,834	1,868	1,900	2,150以上	+5%
売上総利益	294	328	303	348	-	-	-
営業利益	46	55	40	57	65	80以上	+10%
営業利益率 (%)	2.5%	3.0%	2.2%	3.0%	3.4%	3.5%以上	-
EBITDA	88	98	89	106	116	-	-
当期純利益	30	33	41	47	54	-	-
ROA (%)	1.9%	2.0%	2.6%	3.2%	3.7%	4.0%	-
ROE (%)	3.7%	4.0%	4.9%	5.6%	6.1%	5.0%以上	-
EPS (円) ※	178.7	195.9	249.5	288.6	328.1	300以上	-
D/Eレシオ	0.40	0.47	0.42	0.30	0.28	0.50	-
フリーC/F	44.8	△42.3	28.1	104.5	-	-	-
CCC (日)	109.6日	117.4日	116.6日	112.3日	-	-	-
一株当り配当額(円)※	90	90	90	90	100		
配当性向	50.4%	45.9%	36.1%	31.2%	30.5%	30%以上	

※株式会社併合換算後

2019～2020年度の位置づけ

- 外部環境の変動に左右されにくい事業構造へ
- 油脂事業の収益性強化 量から質への転換（汎用品）、高付加価値品の拡大
- 2020年の中計目標達成へ向け、油脂加工品、食品・ファイン両事業の収益貢献
- 2030年に向けて、海外事業の拡大

既存の強みを活かした成長と 将来投資に向けての基盤固め

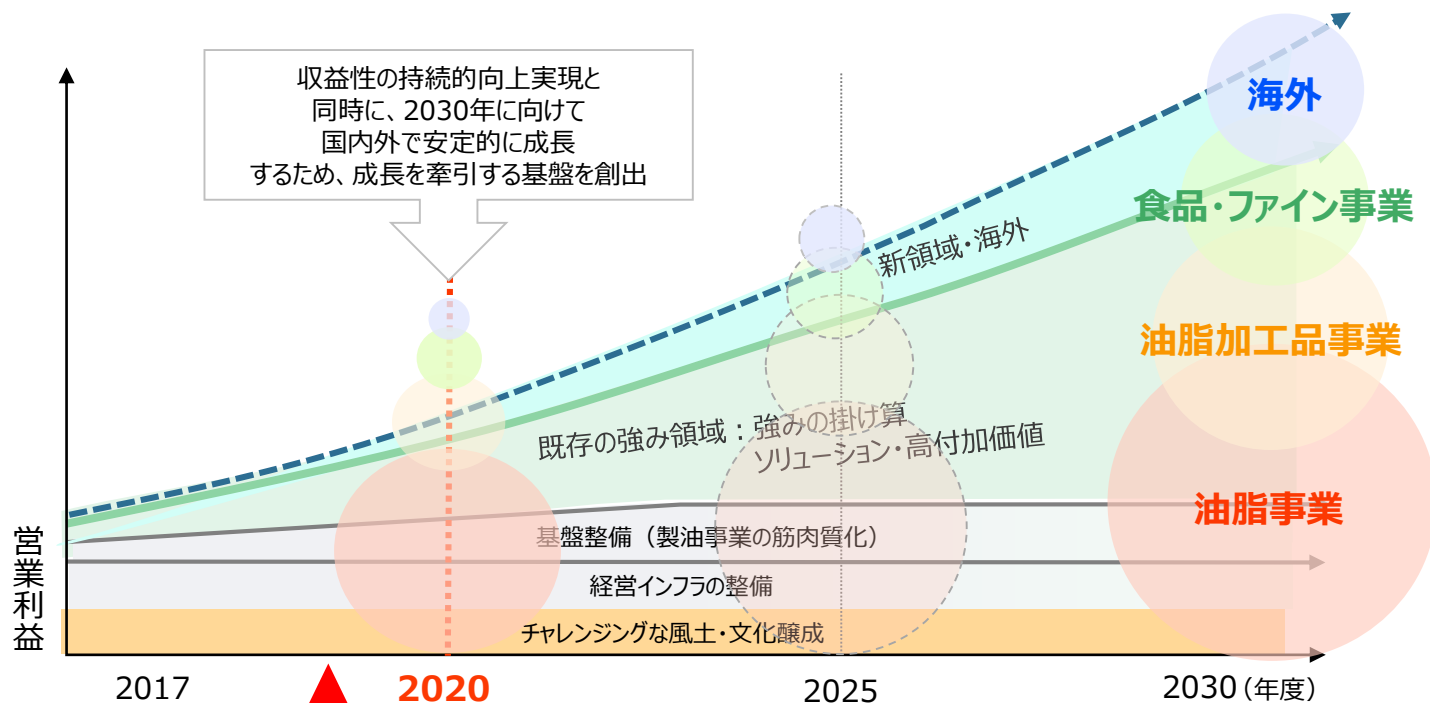
- コストダウン
- 新領域取り組み開始
（健康・食資源・省力化）

将来に向けた成長投資強化 量的縮小への備え

- 老朽化設備対応、
- 拠点再構築の完成
- 新領域への成長投資拡大

成長の実現

- 新領域への成長投資継続





Agenda

- 1 2019年度 3 Q 決算概況
- 2 中期経営計画進捗
- 3 2019年度通期 見通し
- 4 トピックス
- 5 参考資料

トピックス

- 坂出事業所：倉庫業・不動産業等の事業譲渡
2019年12月25日、マルゼングループ協同組合への本譲渡が完了

坂出事業所の事業内容・・・倉庫業、不動産業等

▶ 入船敷地・・・約23,000坪
・穀物サイロ・定温倉庫・普通倉庫
・土地及び建物の賃貸
・食用油脂の配送

▶ 林田敷地・・・約7,300坪
・穀物サイロ・定温倉庫
・土地の賃貸

事故の影響により、譲渡益は当初の見込より減額となった。(補修費等) 事故の原因については引き続き調査中。

➤ 新商品情報

● 家庭用油脂製品



「AJINOMOTO. こめ油」(2020年2月下旬～)

- コクと甘みが特長の炒めもの、揚げもの、サラダのドレッシングなど、どんな料理にもおいしく使える油です。
- 大容量で気軽に使える1000gボトルタイプ



「AJINOMOTO. オリーブオイル」 「AJINOMOTO. オリーブオイル エクストラバージン」 (2020年2月下旬より順次パッケージリニューアル発売)

- 製品名称を英語からカタカナ表記するとともに、製品特長が伝わりやすいデザインへ刷新

● 業務用油脂製品



「麺のための油」(2020年3月上旬～)

- 時間が経っても、プリプリとしたおいしい食感を維持します。
- 麺同士がくっつかないので、喫食時のほぐれが良く、おいしく食べられます。



「J-OILPRO® フレッシュに香るガーリックオイル」 (2020年3月上旬～)

- フレッシュな香りと、程良い旨味と甘みをもつガーリックオイル
- 調理後、冷蔵保存で香りが持続します。
- 加熱調理や冷凍保存で香りが残ります。



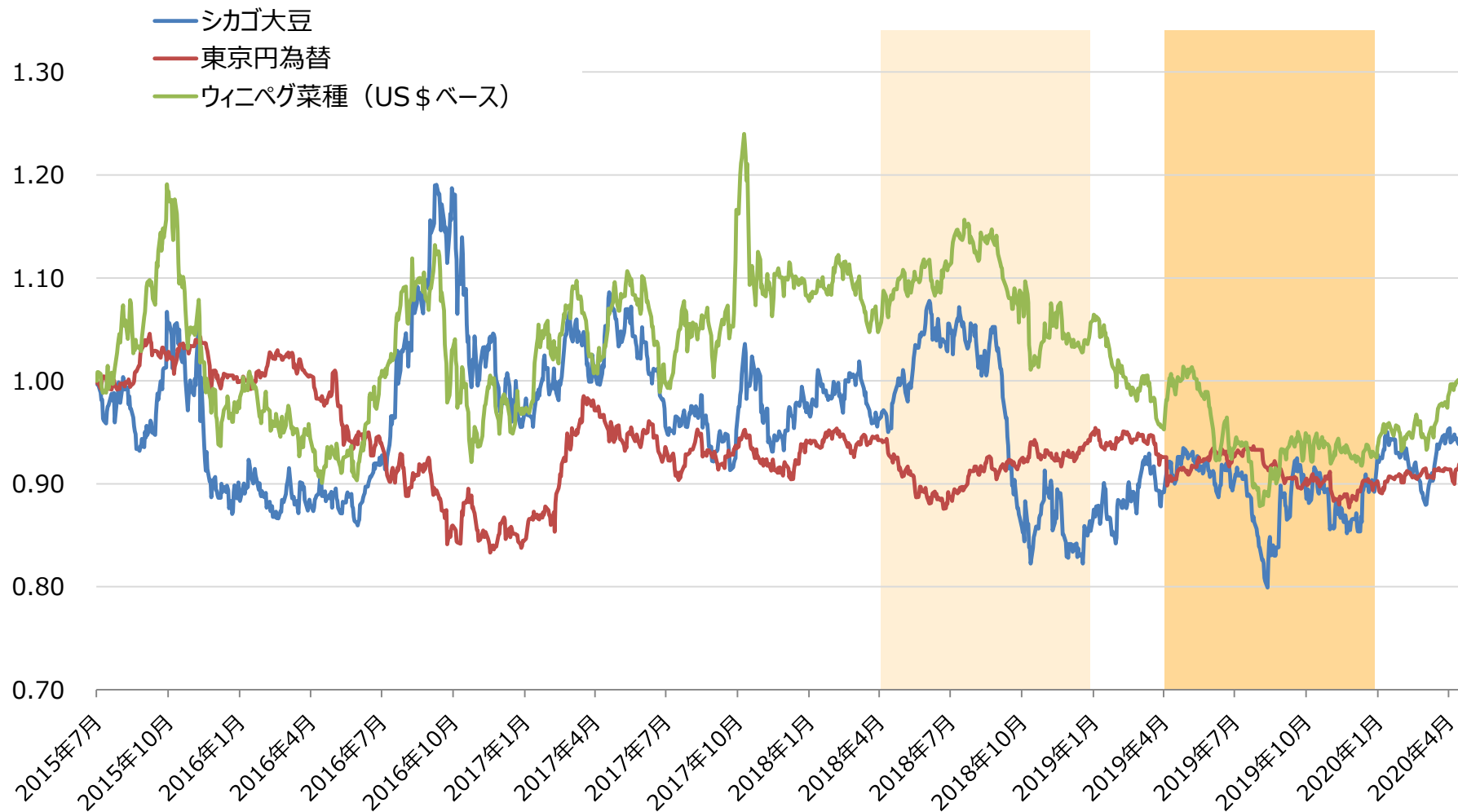
Agenda

- 1 2019年度 3Q 決算概況
- 2 中期経営計画進捗
- 3 2019年度通期 見通し
- 4 トピックス
- 5 参考資料

大豆、菜種、為替(米ドル)の相場動向

*原料調達状況に近づけるため、相場データを3ヶ月ずらして表示(2015年4月を1とする)

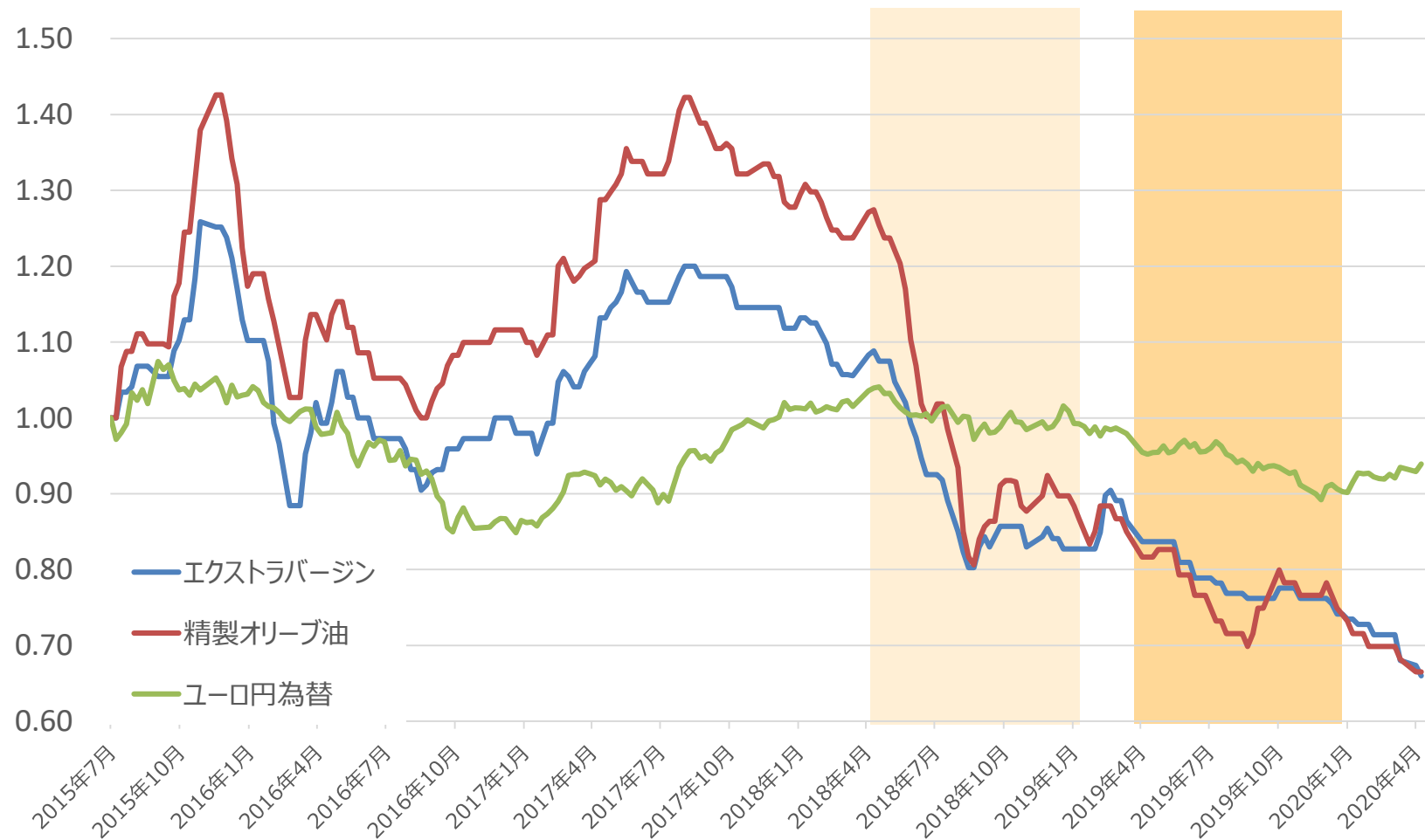
…前年同期 …当期



オリーブ、為替(ユーロ)の相場動向

* 原料調達状況に近づけるため、相場データを3ヶ月ずらして表示(2015年4月を1とする)

…前年同期 …当期





本資料取扱上の注意

- 本資料の金額は、四捨五入で表示しています。
- 本資料記載の内容は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものです。実際の業績は、さまざまな要因により本資料の予想とは異なる結果となる可能性がありますことをご承知おきください。